

ヨコハマトリエンナーレ2020 「AFTERGLOW—光の破片をつかまえる」

いま最も刺激あふれる現代アートは、横浜から世界へ

目まぐるしく変化する世界の中で、大切な光を自ら発見してつかみ取る力と、他者を排除することなく、共生のための道を探るすべについて、みなさんと一緒に考えます。



Photo : KATO Hajime

アーティストック・ディレクター
ラクス・メディア・コレクティブ

横浜トリエンナーレでは
初の外国人ディレクター
世界で注目されるインド出身の3人組

左から：シュッダブラタ・セーングプタ、
ジーベシュ・バグチ、モニカ・ナルラ

世界のトップを切って開催します

- 今こそアートが必要とされている、とのメッセージを発信します。
- 世界のアートファンやアーティストに勇気を与えます。
- 街に活気をもたらします。
- 万全のコロナウイルス対策で規範を示します。

今こそ横浜から世界に伝えたい。 ラクスが掲げる5つのキーワード

「独学」たくましく学ぶ
「発光」学んで世界へと光を送る
「友情」光の中で友情を育む
「ケア」互いに慈しむ
「毒」否応なく存在する毒と共存する

タイトルの「アフターグロー」とは？
ビッグバンのあと宇宙に発せられ、
今も私たちに降り注ぐ光のこと。
時空を超えて広がる光のイメージ。

展示の特徴

- 参加アーティスト：65組（66名+1グループ）（2020年6月現在）
- **若さ、新鮮さ**：1980年代、90年代生まれが35名 20代、30代が53%
- **参加地域の多様さ**：アジア31組、ヨーロッパ14組、中東8組、アフリカ4組、大洋州4組、北米1組、中南米2組 *1組は未公表

横浜美術館

ニック・ケイヴ Nick CAVE

1959年、ミズーリ州フルトン
(アメリカ)生まれ、シカゴを
拠点に活動。



《回転する森》2016
©Nick Cave, Courtesy of the artist and Jack Shainman Gallery,
Photo by James Prinz



Photo by Sandro

エヴァ・ファブレガス Eva FÀBREGAS

1988年、バルセロナ
(スペイン)生まれ、
ロンドンを拠点に活動。



Photo by Migue Barreto,
TEA Tenerife Espacio de las Artes

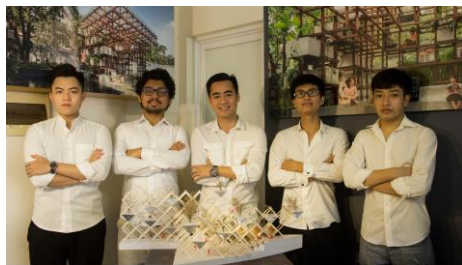


《ボンピング》2019

プロット48

ファーミング・アーキテクト Farming Architects

2017年にズン・アン・ヴィエットとニャン・アン・タン
が設立。ハノイ (ベトナム) を拠点に活動。



《THE SPACE COALITION》2020

アリユアーイ・プリダン (武玉玲) Aluaiy PULIDAN

1971年、三地門郷 (台湾)
生まれ、同地を拠点に活動。



《満開》2019
©伊誕創藝視界企業社, Photo by 王言度